

公益信託しまね女性ファンド 平成23年度後期(追加) 決定事業一覧

「魅力ある地域づくり」を推進する活動

	事業名	団体名	実施地	実施予定日	助成決定額	事業概要
1	石央音楽祭	石央音楽祭実行委員会	浜田市	12月4日	500,000	地域や大学等で音楽活動に励んでいる若い世代の音楽家や地元合唱団と、国内外で活躍している浜田市出身のトップレベルのアーティスト6名をゲストに招いて音楽祭を開催する。ゲストには、近年地元開催が少なくなったオペラアリアを披露していただく。地域の小・中・高校生に質の高い音楽を提供し、各学校に合唱部を復活させ、音楽教育を促進する機会としたい。
2	琴名流大正琴琴扇芳の会 第20周年記念演奏会	琴名流大正琴琴扇芳の会	江津市	平成24年1月21日	500,000	発足20周年の節目として、ゲストと会員のほか江津市を中心に活動している合唱団や太鼓奏者、学校の吹奏楽部、社交ダンスグループ等と一緒に演奏会を開催する。老若男女総勢250名の出演者が共演するなどして、多種多彩なパフォーマンスを提供する。来場者のみなさんとともに、音楽をとおして交流や親睦を図る機会となる演奏会としたい。
3	まごころサービス松江センター 設立20周年記念事業	特定非営利活動法人まごころサービス松江センター	松江市	11月19日	150,000	先頃行われた国勢調査の速報結果では、島根県内の人口に占める65歳以上の割合が全国2位と発表された。このように高齢化が進む中で、市民として何ができるかを考え、実行していくために、先駆的に広く活動している団体の代表者を招いての講演会を開催する。また、当団体の20年間の活動を冊子にまとめ、広く活動を紹介し、振り返りと今後の継続、発展へと繋げる。
4	学校ネズミのコンサート2011	ジュニアミュージカル風花	大田市	12月4日	500,000	15年前の島根音楽祭で大田市が実施した市民参加型ミュージカル『学校ネズミのコンサート』。この事業への参加がきっかけで結成した「風花」と、一般公募で募った市内外の人たちとともに再演する。舞台演出や音楽等の指導は、当時の講師が再度集結し、今回の舞台に合わせ、内容は新たにリニューアルする。出演者も観客も一体となって感動を呼び起こす舞台をつくる。
5	らいらっくの会 5周年記念講演&交流会	骨髄バンク普及啓発ボランティア りいらっくの会	浜田市	10月22日、 23日	480,000	骨髄バンク・骨髄移植について、一人でも多くの方に知ってもらうため、交流会と講演会を開催する。交流会では、提供者、提供経験者、提供を待っている人、また関心のある方を含め、様々な思いを語り、聴く会とする。講演会は、移植を受け、現在も啓発活動に取り組んでいる前全国骨髄バンク推進連絡協議会会長の大谷貴子さんからお話を聴き、理解を深める場としたい。
6	グループ「はな・花・華」作品展	出雲プリコラージュの会	出雲市	12月23日～ 25日	470,000	「花」をテーマに、パッチワークキルト、ガラスアート、ステンドグラス、ちぎり絵、押し花絵、写真等の作品展と地元ミュージックベルクラブによるコンサートを開催する。それぞれ体験型のワークショップも設け、鑑賞のみではなく、出展(出演)者と参加者の交流の場を提供する。刺激を与え合いながら、地域で生き活きと暮らしていくことを広く提案する内容としたい。
7	しずま菜の花まつり	しずま菜の花まつり実行委員会	大田市	平成24年3月25日	100,000	農村の景観維持を目的に、住民グループが静間駅周辺の休耕田等に菜の花を栽培し、面積約85アールにまで広がった。この活動を広く知ってもらうため、菜の花まつりを開催する。当日は駅舎を中心に東西約400メートルを歩行者天国にして、菜種油で揚げた山野草の天ぷらの試食会のほか、自治会等の出店や石見神楽の公演等を行い、地域振興の一助に繋げる。
8	ふるさとの文化「緋と山陰の女性」 ～ 広瀬絢 宮本テリノ、安来織 遠藤小間野・千恵子遺作展～	広瀬町文化協会 (ふるさとの文化「緋と山陰の女性」実行委員会)	松江市	10月10日 ～16日	500,000	近代社会は、大量生産、大量消費で便利さや豊かさを手に入れる一方、親から子へと受け継がれてきた大事な生活文化が失いつつある。この緋展では、単なる鑑賞ではなく、織物をとおして現代の生活を振り返り、先人の技術や想いを学び、手仕事の魅力を多くの人に伝える内容とする。会場は松江市堀川沿いの古民家を利用し、ハーモニカ奏者を招くなどして演出も工夫する。
9	普く人々に請う瓦仕舞事業 ～ 石州石見瓦の伝統を次世代に伝える～	樹冠ネットワーク	江津市	10月10日～ 12日	420,000	江戸時代、年貢米や飢饉の時の食料を保存する公の施設であった江津市桜江町にある「郷蔵」の屋根仕舞を、参加者を募りワークショップ形式で実施し、完成後は地域の歴史・自然・文化を伝える交流拠点として活用する。地域の自然素材だけで建てられた蔵を昔ながらの方法で改修する課程をとおり、地域の資源に気づく機会とし、地域活性に繋がる仕組みづくりをめざす。
10	図書館で地域を元気UP 「絵本作家 のぶみ ワークショップ&講演会」	三隅図書館応援隊ブックま	浜田市	10月15日	240,000	平成25年に新しく「三隅図書館」がオープンする。この図書館を当団体の活動拠点の場と位置付け、障がい者、子ども、高齢者に対する図書サービスを充実させ、読書環境のレベルアップやに繋がるソフト事業のサポートを実施していく予定としている。今回、絵本作家を講師に迎えての講演会を開催し、新図書館の活用方法を地域住民と共に考える場のひとつとする。

公益信託しまね女性ファンド 平成23年度後期(追加) 決定事業一覧

「男女共同参画社会づくり」を推進する活動

	事業名	団体名	実施地	実施予定日	助成決定額	事業概要
11	男女共同参画のまちづくり講演会	男女共同参画のまちづくり 実行委員会	出雲市	平成24年1 月下旬	100,000	「男女共同参画」というと、「難しい」「自分には関係ない」という人がまだまだ多くいる。男性も女性も、お互いを認め、支え合い、個性輝くまちづくりを進めるため、現状を把握し、問題意識の向上を図る講演会を開催する。この度、それぞれ活動していた2つの団体で実行委員会を立ち上げた。出雲市外へも広報し、多くの参加者を募り、継続して啓発活動に取り組む。

公益信託しまね女性ファンド 平成23年度後期(追加) 決定事業一覧

「次代を担う人づくり」を推進する活動

	事業名	団体名	実施地	実施予定日	助成決定額	事業概要
12	(子供達に伝えよう) 芋代官遺徳 さつま芋収穫祭	和木婦人会	江津市	10月29日	100,000	江戸中期にサツマイモを普及させ、飢饉から人々を救ったとされる石見代官・井戸平左衛門の遺徳を偲び、収穫祭と歴史勉強会を開催する。今回は新たな試みとして、地元小学校の生徒から芋代官にまつわる歌詞を募集し、地元音楽愛好者に作曲を依頼して「芋石塔の歌」をつくる。時代とともに忘れかけている功績を子どもたちに伝え、地域住民の交流の場につなげる。
13	子どもに関わるおとなのコミュニケーション力を高めるための人材育成事業～子どもの「あそび」はコミュニケーションの源！～	特定非営利活動法人ほっとすぺーす21	出雲市	平成24年3月3日、4日	260,000	次代を担う子どもたちのより良い子育て環境を目指すため、おとなのコミュニケーション力を培う講座を開催する。昨年度、「あそび」をとおして人と関わることの楽しさを学ぶ講座を実施し、大きな反響を得た。今回は、あそびワークショップ「忍者、参上！」の中に、参加者が創った「あそび」を取り入れ、実際に小学生と一緒にあそんで学ぶ実践型の講座を行う。
14	益田おやこ劇場40周年記念公演「弥次さん喜多さん道中記」	益田おやこ劇場	益田市	平成24年3月1日	300,000	発足40周年を記念して、人形劇団ひとみ座による公演を開催する。開催するにあたり、子どもたちには事業運営に主体的に関わってもらおう。準備から当日の受付、進行等を担うことで、自主性や創造性、豊かな心を育み、健全育成を図る。ほかに、子どもたちが描いた「弥次さん喜多さん」の絵を展示したり、手作りケーキやクッキーを販売するなどして、会場を盛り上げる。
15	新春和楽器コンサート「春を呼ぶ調べ」	長久篠笛教室	大田市	平成24年1月21日	330,000	神楽笛から独立し、「篠笛」で童謡や歌謡曲等、色々な曲を演奏する楽しさや喜びを仲間同士で分かち合い、学びの場として活動している。その活動の成果を発表する場として、県内の尺八奏者、土笛奏者、琴奏者とともに和楽器コンサートを開催し、幅広い世代に日本の伝統文化である和楽器の魅力と、「篠笛」の素晴らしさを知ってもらう機会とする。
16	「若者×アート」でまちづくり事業	特定非営利活動法人おやこ劇場松江センター	松江市	10月23日	500,000	平和とは何かを問う、現代の高校生を描いたプロの舞台劇「修学旅行」の鑑賞会を開催するとともに、この鑑賞会までの事前準備や当日運営を、中学生・高校生(演劇部)・大学生にまるとご体験してもらい取り組みを行う。舞台の現場、表現者、地域づくりに取り組む多様な大人たち、また観客とのコミュニケーションをとるなどして、地域の一員として成長できる機会を創出する。
17	新米ママのリフレッシュ講座	ひらた蓬の会	出雲市	10月～平成24年3月	210,000	核家族化が進む中、“孤育て”に悩むお母さんが多いと聞く。そこで、子育て中の新米お母さんを対象に、託児付きのハワイアンフラとクロスステッチ講座を開き、心身のリフレッシュ、新しい仲間づくりの場を設け、地域で安心して子育てができる環境づくりと支援体制をめざす。(「子育て、のもしり」夫や親族の協力が得られず、近所との付き合いもなく孤立した中で母親が子どもを育てている状態をいう)
18	“ヌーちゃん”で夢を叶えようプロジェクト	松江市乃木公民館 図書グループ	松江市	10月～平成24年3月	260,000	平成15年、会発足20周年を記念して制作したオリジナル絵本「さんきょ川のヌーちゃんのゆめ」を再び製本し、事業で活用するほか、幼稚園や保育所、小学校等に配付する。この本は、地元で流れる川の環境保全に取り組む児童や住民の様子を盛り込んだ物語である。子どもたちを中心に、昨今失われつつある自然環境や人との関わりについて、絵本をとおして語り継いでいく。
19	第2回 出雲おもいやり塾	おもいやりネット出雲	出雲市	12月4日	240,000	出雲地域特有の風土から、若者たちが能力を十分に発揮できない状況にあると考える。そこで、プレイバックシアターの手法により、普段の何気ない会話や行動の中から見える「出雲独特の枠組み」を検証し、気づきの共有から改善へと導く機会とする。(観客や参加者が自分の体験したできごとを語り、それをその場ですぐに即興劇として演じる(プレイバックする)独創的な即興演劇のこと)
20	映画「森聞き」と子どもたちに伝えたい森の時間	森の声をきく会	松江市 益田市	11月27日・平成24年1月7日	500,000	ドキュメンタリー映画「森聞き」は、森の名人と呼ばれる人たちの人生と技を聞き書きした高校生4人を追った作品である。この映画上映会を松江市と益田市を会場に開催し、あわせて映画プロデューサー大兼久由美さんと(社)国土緑化推進機構から「森の名人」の認定を受けた藤田丈さんの講演会を行い、映画の内容をより深く考え、行動に繋げていく機会とする。
21	地球社会に生きる絆	ふれあいネット出雲	出雲市	平成24年1月下旬	240,000	次代を担う子どもたちが、人・自然を大切に心豊かに、健やかに成長できるよりよい社会環境づくりに努めることが大人の責務と考える。そこで、人として生きるルールとマナーを培い、環境に優しい人づくりを目指し、講演会と対談、意見交換会を開催する。あわせて、出雲市内の小中学生による少年の主張の発表を行い、子どもも大人も一緒に考える場を提供する。

助成決定 件数	助成決定額 合計
21件	6,900,000